



TOKYO GAS GROUP INTEGRATED REPORT 2025

東京ガスグループ 統合報告書 2025

未来をつむぐ エネルギー

 TOKYO GAS GROUP

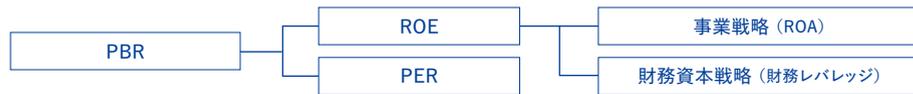
今年度のポイント

当社は、本統合報告書を、未来志向の中長期的な成長ストーリーを皆さまと共有するための重要なコミュニケーション媒体と位置付けています。ビジョンや事業戦略、財務および非財務領域の取り組みを、一貫したストーリーとして分かりやすくまとめ、企業価値向上への道筋の解像度を高めることに注力しました。2030年頃ROE10%超を目指す当社の挑戦と成長の可能性について、本書を通じて感じ取っていただければ幸いです。

POINT-1 企業価値向上を起点にした構成

PBR向上を最終目標(KGI)とし、「グループKGI・KPIツリー[※]」を基軸に全体を構成。ビジョン・戦略・経営資本のつながりと、企業価値の向上への道筋をお示しました。

※グループKGI・KPIツリーの詳細は、こちらをご参照ください。 [CFOメッセージ・財務資本戦略](#) P.26



	PBR	ROE	事業戦略 (ROA)	財務資本戦略 (財務レバレッジ)	PER
CEOメッセージ	○	○	○	○	○
企業価値向上の源泉	○				
企業価値向上に向けたビジョン	○				
CFOメッセージ・財務資本戦略		○		○	○
事業戦略			○		
中長期の価値創造					○
企業価値向上を支える基盤	○				○

POINT-2 成長ストーリーの具体化

次期中期経営計画に向けた成長ストーリーを具体的に描くことで、当社の長期ビジョン「Compass2030」の達成に向けた期待を実感いただけるよう作成しました。

おすすめページ

[CEOメッセージ](#) P.08

[次期中期経営計画に向けた成長ストーリー](#) P.21

[CFOメッセージ・財務資本戦略](#) P.26

POINT-3 東京ガスらしさの体現

経営トップの思いや社外取締役の声、社員の取り組みを通じて、当社の根底にある価値観や将来の成長性、ガバナンスの透明性や実効性をお示しました。

おすすめページ

[CEOメッセージ](#) P.08

[特集：マテリアリティの進化](#) P.13

[座談会：広がるデジタル顧客接点と価値提供](#) P.39

[取締役会長・社外取締役 座談会](#) P.64

株主・投資家向けサイト

<https://www.tokyo-gas.co.jp/IR/index.html>

▶インベスターズガイド (財務データ)	https://www.tokyo-gas.co.jp/IR/library/invguid_j.html
▶決算説明会資料	https://www.tokyo-gas.co.jp/IR/library/document_j.html
▶決算短信	https://www.tokyo-gas.co.jp/IR/library/earn_j.html
▶有価証券報告書・四半期報告書	https://www.tokyo-gas.co.jp/IR/library/yuho_j.html
▶コーポレート・ガバナンス報告書	https://www.tokyo-gas.co.jp/IR/gvnc/pdf/governance.pdf

サステナビリティサイト

<https://www.tokyo-gas.co.jp/sustainability/index.html>

ツールマップ

情報開示体系

	財務情報	非財務情報
ストーリー性	統合報告書 <ul style="list-style-type: none"> ● 人的資本レポート 	
網羅性	有価証券報告書 <ul style="list-style-type: none"> ● インベスターズガイド ● 決算短信 	サステナビリティファクトブック <ul style="list-style-type: none"> ● コーポレート・ガバナンス報告書

目次

イントロダクション

今年度のポイント・ツールマップ	02
目次・編集方針	03
グループ経営理念	04
At a Glance	05
ビジネスモデル	06
ホールディングス型グループ体制	07

CEOメッセージ

CEOメッセージ	08
----------	----

企業価値向上の源泉

特集：マテリアリティの進化	13
価値創造プロセス	16
東京ガスのあゆみ	17
東京ガスの強み	18

企業価値向上に向けたビジョン

Compass2030 & Compass Transformation 23-25	19
カーボンニュートラルロードマップ2050	20
次期中期経営計画に向けた成長ストーリー	21
事業成長ストーリー	22
財務戦略	25

編集方針

対象組織

東京ガス(株)および国内外の関係会社(子会社、関連会社)

対象期間

2024年度
(ただし、それ以前からの取り組みならびに2025年4月以降の活動の内容も一部含む)

CFOメッセージ・財務資本戦略

CFOメッセージ・財務資本戦略	26
事業戦略 (ROAの向上)	
エネルギートレーディングカンパニー	31
カスタマー&ビジネスソリューションカンパニー	32
東京ガスエンジニアリングソリューションズ(株)	33
地域共創カンパニー	34
グリーントランスフォーメーションカンパニー	35
東京ガスネットワーク(株)	36
海外事業カンパニー	37
東京ガス不動産(株)	38
座談会: 拡がるデジタル顧客接点と価値提供	39

中長期の価値創造 (PERの向上)

サステナビリティマネジメントの推進	42
脱炭素社会への責任あるトランジション	45
TCFD提言に基づく開示	50
地球環境の保全	53
サプライチェーン全体における人権の尊重	54
人的資本経営の実践	56
DXの推進	60
非財務価値の可視化	62

企業価値向上を支える基盤 (コーポレート・ガバナンス)

取締役会長・社外取締役 座談会	64
方針・体制	68
役員一覧	70
取締役会	73
指名委員会	76
報酬委員会	77
監査委員会	79
内部統制	80
株主・投資家の皆さまとの対話	83

データ

東京ガスの事業	84
10年間の主要連結財務データ	85
連結貸借対照表	87
連結損益計算書/連結包括利益計算書	88
連結キャッシュ・フロー計算書	89
原料費調整制度によるタイムラグ影響	90
主要非財務データ	91
外部機関からの主な評価	92

見通しに関する注意事項

本統合報告書に掲載されている東京ガスグループの計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスグループの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。なお、実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油等各種エネルギー価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスグループの対応等があります。

東京ガスグループでは、株主・投資家をはじめとしたあらゆるステークホルダーの皆さまに、当社グループの持続的経営・企業価値向上の実現可能性をご理解いただくために本統合報告書を発行しています。また、Webサイトでは、より詳細な情報およびニュースリリース等の最新情報を公開しています。

イントロダクション

CEOメッセージ

企業価値向上の源泉

企業価値向上に向けたビジョン

CFOメッセージ・財務資本戦略

事業戦略 (ROAの向上)

中長期の価値創造 (PERの向上)

企業価値向上を支える基盤

データ

今年度のポイント・ツールマップ 02

目次・編集方針 03

グループ経営理念 04

At a Glance 05

ビジネスモデル 06

ホールディングス型グループ体制 07

グループ経営理念

存在意義

人によりそい、
社会をささえ、
未来をつむぐエネルギーになる。



価値観

挑み続ける

日々、新たに挑戦し、
学び続けます。

やり抜く

何事も自分事として
結果にこだわってやり抜きます。

尊重する

価値観を認め合い、
互いの可能性を大切にします。

誠意をもつ

「ステークホルダーと地球」の
未来に対して、誠意ある行動をします。

東京ガスグループは、1885年の創立以来、技術革新や創意工夫を重ね、みなさまの近くで、より豊かな暮らしと環境に優しい社会を志してきました。そして2025年、理念を体現するために、私たちはマテリアリティを進化させました。これからも、暮らし、地域、地球の未来のために みなさまとともに、とどまることなく歩み続けていきます。

特集:マテリアリティの進化 P.13

イントロダクション

CEOメッセージ

企業価値向上の源泉

企業価値向上に向けたビジョン

CFOMessage財務資本戦略

事業戦略(ROAの向上)

中長期の価値創造(PERの向上)

企業価値向上を支える基盤

データ

今年度のポイント・ツールマップ	02
目次・編集方針	03
グループ経営理念	04
At a Glance	05
ビジネスモデル	06
ホールディングス型グループ体制	07

At a Glance

東京ガスグループの今

「決してエネルギーを止めてはならない」「カーボンニュートラル社会を必ず実現しなくてはならない」。

これらはお客さまによりそい社会を支えるエネルギー事業者としての責務です。

東京ガスグループは二つの命題を両輪で実現させ、さらに「脱炭素・最適化・レジリエンス」に貢献するソリューションの提供をしていくために、創業以来培ってきた「安心・安全・信頼」を大切にしながら変革し、持続的に成長していきます。

親会社株主に帰属する 当期純利益



2024年度 2025年度見通し

741 億円^{※1} 1,830 億円^{※2}

ROE (自己資本利益率)



2024年度 2025年度見通し

4.3%^{※1} 11.1%^{※2}

都市ガス 小売お客さま件数



882.6 万件^{※3} 国内 No.1^{※4}

電力 小売お客さま件数



415.2 万件^{※5} 国内新電力 No.1^{※6}

従業員数



15,572 名^{※7}

CO₂削減貢献量



1,263 万トン^{※1}

社会全体のCO₂削減に貢献 ▶ P.46

※1 数値は2025年3月末時点

※3 ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数、数値は2025年3月末時点

※5 電力料金請求対象件数、数値は2025年3月末時点

※7 従業員数は常勤の就業員数であり、受入出向者を含み、出向者および臨時従業員を含まない。数値は2025年3月末時点

※2 数値は2025年7月30日公表時点

※4 ガス事業便覧 2024年版における年間需要量より

※6 資源エネルギー庁 電力調査統計における電力需要実績より、数値は2025年3月末時点

イントロダクション

CEOメッセージ

企業価値向上の源泉

企業価値向上に向けたビジョン

CFOMessage財務資本戦略

事業戦略 (ROAの向上)

中長期の価値創造 (PERの向上)

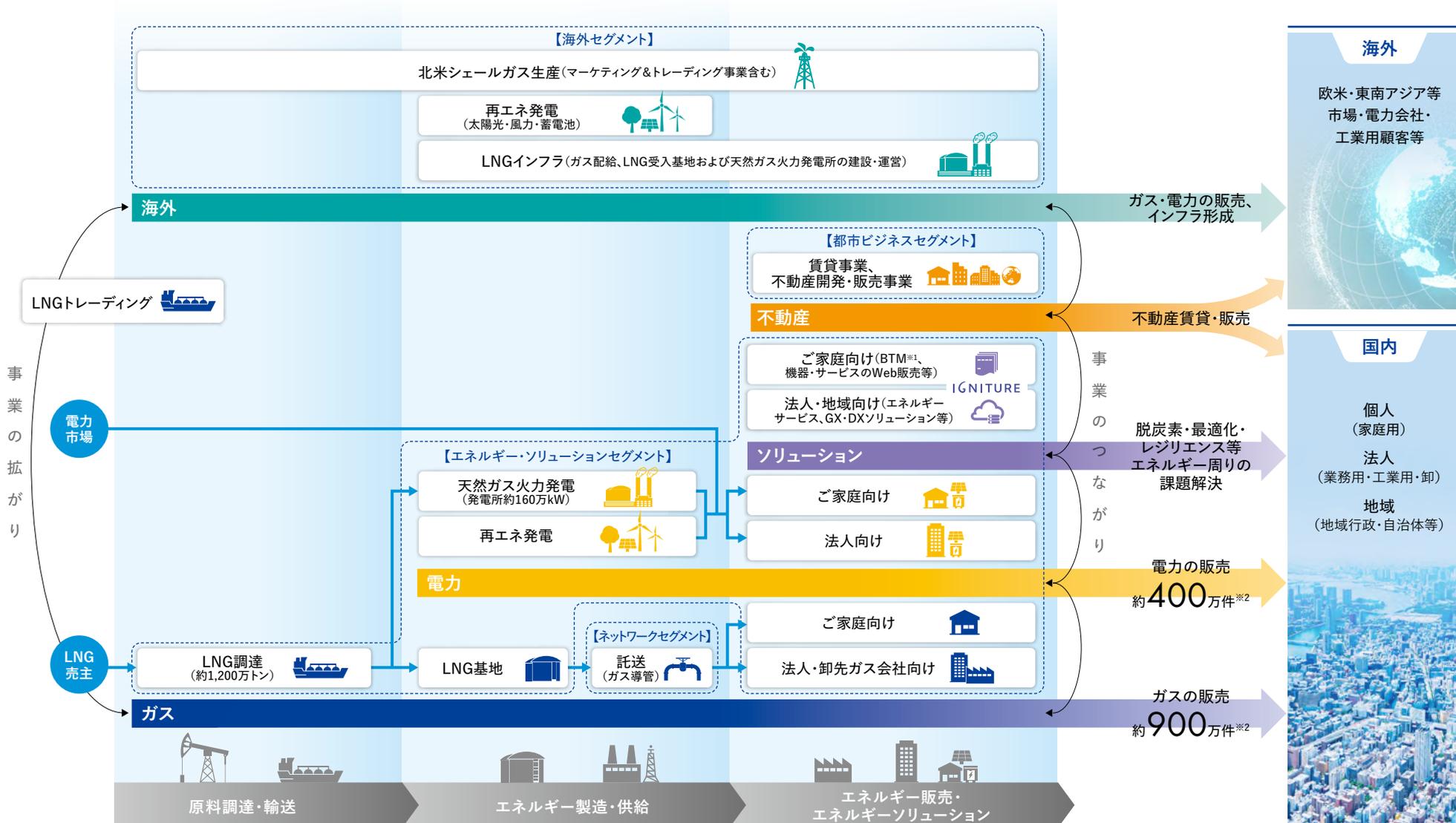
企業価値向上を支える基盤

データ

今年度のポイント・ツールマップ	02
目次・編集方針	03
グループ経営理念	04
At a Glance	05
ビジネスモデル	06
ホールディングス型グループ体制	07

ビジネスモデル

東京ガスグループは、強固な顧客基盤を活かし、事業領域を首都圏から全国・海外に、提供するサービス領域をガス、電力、ソリューション等に「広げる」ことで、アカウント当たりの収益性を高めるとともに、国内外のエネルギーアセットの運用柔軟性を活かしてトレーディング事業で収益を創出する等、各事業を「つなぐ」ことで企業価値向上を目指します。



※1 Behind-the-meter: 電力メーターよりお客さま側に設置されている設備(太陽光・蓄電池等)を活用した事業 ※2 ガス・電力小売事業者としてのガス・電力料金請求対象件数

イントロダクション

CEOメッセージ

企業価値向上の源泉

企業価値向上に向けたビジョン

CFOMessage財務資本戦略

事業戦略 (ROAの向上)

中長期の価値創造 (PERの向上)

企業価値向上を支える基盤

データ

今年度のポイント・ツールマップ 02

目次・編集方針 03

グループ経営理念 04

At a Glance 05

ビジネスモデル 06

ホールディングス型グループ体制 07

ホールディングス型グループ体制

東京ガスグループは、柔軟でスピーディな意思決定・経営判断を行いながら、刻一刻と変わり続ける市場やお客さまと向き合い成長していくために、カンパニーおよび事業会社を設けた、ホールディングス型グループ体制をとっています。カンパニー・事業会社の裁量を拡大し、グループ内連携によりグループシナジーを追求していきます。

セグメント

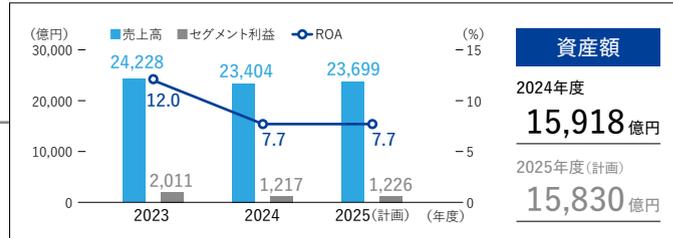
セグメント実績・計画 (売上総利益・資産額・ROA推移)^{※1}

事業領域

カンパニー・事業会社

エネルギー・ソリューション

都市ガスの製造・販売、LNG販売、トレーディング、電力、エンジニアリングソリューション(エンジニアリング、エネルギーサービス他)等、アセットの柔軟性と需要を強みとした多様なエネルギー取引を行っています。



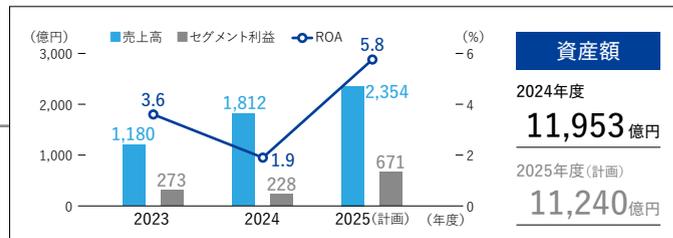
ネットワーク

都市ガスの託送供給等を行っています。都市ガス化営業を積極的に展開し、お客さまでのCO₂削減貢献を進めるとともに、スマートメーターを活用した付加価値の向上や、インフラ事業者と連携した地域の価値向上にも取り組んでいます。



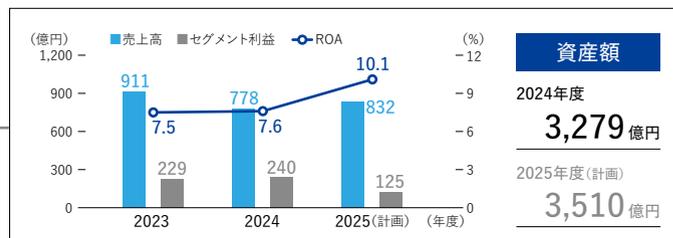
海外

資源開発、エネルギー供給等を行っています。北米では資源開発事業、東南アジアでは日本で培ったノウハウを活かしたLNGインフラ事業を中心に展開し、事業を拡大。近年では、北米において中下流事業への拡大にも取り組んでいます。



都市ビジネス

不動産の開発および賃貸等を行っています。保有地を最大限に活用し、オフィス・住宅の賃貸事業を都心部中心に展開。不動産とエネルギーの一体開発で環境性やレジリエンスの価値を提供しています。



※1 2024年度より東京ガスアメリカおよびその傘下連結子会社において国際財務報告基準(IFRS)から米国会計基準を適用したことに伴い、適用後の数値。また2025年度数値は2025年7月30日公表時点。

- 今年度のポイント・ツールマップ 02
- 目次・編集方針 03
- グループ経営理念 04
- At a Glance 05
- ビジネスモデル 06
- ホールディングス型グループ体制 07